

# 名古屋難民支援室(DAN)設立 10 周年記念イベント

## —東海地域の難民の現状と支援 10 年の歩みとこれからの 10 年に向けて—

2012 年 7 月に活動を開始した名古屋難民支援室(DAN)は、おかげさまで 10 年の節目を迎えます。これまで、多くの皆様に支えられ、**東海地域の難民支援**を継続できたことに感謝するとともに、これからの 10 年もより皆様のご協力を賜りつつ、支援活動を継続していきたいと考えております。

DAN 設立から 10 年経った今、**ウクライナ危機**が起き、日本が難民条約に加入して以降、これまでにないほど行政・企業・民間が連携し、受け入れと来日後の支援にあたり、市民一人ひとりの難民に関する関心も高まっています。本イベントでは、この大事な時期に、DAN のこれまでの活動について、**関係者がリレートーク**を行い、参加者の皆様とともに、**これからの 10 年にどう活かしていけるか**、について**考え、意見交換**させていただきたいと考えております。

また、本イベントを通して、ご参加いただく皆様の**関係づくりの場**としても、利用していただければと存じます。

是非、皆様のご参加をお待ちしております。

【日時】 2022 年 7 月 3 日(日) 14:00~15:30(開場:13:45)

【場所】 ウィルあいち 1 階セミナールーム 1&2

+ オンライン ※オンラインの方には追ってリンクをお送りいたします



### 【スケジュール】

- ・ 開会挨拶 DAN・代表理事 名嶋聰郎(弁護士): 難民問題と国際法の意義と限界、市民活動の意義等
- ・ リレートーク

(話し手)

- ① **東海地域に暮らす難民当事者**: 母国を逃れた理由、来日後の生活状況、DAN との関わり、今後の DAN に期待すること等
- ② **DAN・副代表理事 川口直也(弁護士)**: 日本に暮らす難民の状況や課題、DAN 設立時から現在までの活動、ウクライナ難民の受け入れに関して、今後の 10 年の展望等
- ③ **地域と協同の研究センター・専務理事 向井忍さん**: 難民食料支援、ウクライナ支援で DAN と協同する中で、DAN に期待すること、地域での連携の意義等
- ④ **認定 NPO 法人難民支援協会・代表理事 石川えりさん**: 開設時から DAN の活動に関わり、共同する中で、今後の DAN に期待すること、全国での連携の意義等
- ⑤ **DAN・ボランティア 太田達也さん(南山大学教授)**: 翻訳、出身国情報調査、食料支援、日本語教育 + 毎月の寄付を通して、DAN の活動に参加する動機、やりがい等

(聞き手) DAN・コーディネーター 羽田野真帆

【参加費】 無料

【主催】 NPO 法人名古屋難民支援室(DAN)

【申込】 右の QR コードよりお申込みください →



【問合せ】 名古屋難民支援室(DAN): e-mail: info@door-to-asylum.jp 電話 070-5444-1725 FAX 052-308-5073